

指定管理業務評価表

施設名	小牧市南部コミュニティセンター		
対象年度	令和2年度	評価担当部	健康生きがい 支え合い推進部
指定管理者名	小学館集英社プロダクション・ダイケングループ (法人番号：9010001018924・9010001122288)		
指定期間	平成29年4月1日～令和4年3月31日		
職員体制	常勤職員：4人 非常勤職員：5人 合計：9人		

1. 利用実績

(1) 利用者数

区分	施設利用者	個人利用者	自由来館者	合計
4月	0	0	0	0
5月	0	0	0	0
6月	7,951	54	622	8,627
7月	10,855	23	1,533	12,411
8月	8,628	20	1,525	10,173
9月	10,063	24	1,160	11,247
10月	11,206	31	1,184	12,421
11月	10,857	34	1,680	12,571
12月	9,682	24	938	10,644
1月	4,642	15	619	5,276
2月	2,411	3	112	2,526
3月	11,147	38	530	11,715
合計	87,442	266	9,903	97,611

(2) 増減要因

令和2年度の合計利用者数は97,611人となり、前年度と比較して▲87,636人（約▲47.3%）と大幅に減少する結果となった。

減少の要因としては、令和元年度末から続く新型コロナウイルス感染拡大の影響により、施設利用を一時停止したことや、利用定員を1/2に制限したことが大きく影響している。

令和3年度は新型コロナウイルスのワクチン接種が開始されたことにより、今後少しずつ感染拡大が抑えられていくと考えられる。しかし、当面はコロナ禍での感染対策を行っての運営が続くと見込まれるため、イベント等の開催

方法について工夫し、施設利用者数の回復・増加に努められたい。

2. 利用者アンケートの結果

実施期間	令和2年 7月	回答数	153名
	令和2年 12月		267名
利用者の 主な意見	Wi-Fi がつながると良い。		
具体的な 対応状況	Wi-Fi については、今後の情報化社会の中、必要不可欠であると考えられるが、ネット社会には様々な危険が潜んでいる。施設では児童館が併設されており、子供たちをネット社会から守る対策がとれた上で検討していく。		

3. 収支の実績

(単位：千円)

		令和元年度 (決算額)	令和2年度 (決算額)	令和3年度 (予算額)	備考 (主な内訳、増減要因)
収 入	指定管理料	35,000	37,409	37,100	
	事業収入	0	0	0	
	合計	35,000	37,409	37,100	
支 出	人件費	16,966	17,980	18,685	
	旅費	33	37	40	交通費等
	需用費	6,678	7,979	7,043	光熱水費・修繕費等
	役務費	452	508	477	通信費・手数料等
	委託料	4,964	5,410	5,232	清掃警備委託等
	使用料及び 賃貸料	924	1,325	1,359	借上料、受信料等
	その他	4,983	4,170	4,264	間接費等
	合計	35,000	37,409	37,100	

4. 評価

項目	市の評価
運営業務	協定書、事業計画書に沿った施設管理が実施されている。

維持管理 業務	<p>休館日等を利用して設備点検や害虫駆除などの維持管理業務が計画どおり実施されている。</p> <p>清掃管理については、業務委託による清掃のほか、施設職員により日頃から清潔な施設を保つよう努められている。利用者アンケートにおいても施設・設備について清潔で安心して利用できる、といった意見もあり、良い評価が得られている。</p> <p>施設の安全管理については、施設職員による自主点検が定期的に実施されており適正に管理されている。</p>
自主事業	<p>例年行っていたふらっとみなみ夏まつりや、ダンス&踊りフェスティバルなど参加者数が多かったイベントが新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止となった。そういった状況の中で、定員を設けたり、感染対策を行ったりすることで、防災講習会や三世代交流事業等、何とかイベントを開催できるように工夫をした点が評価できる。また、Zoomを取り入れた講座の実施も今後の事業実施につながるものである。</p> <p>令和3年度も引き続き、新型コロナウイルスの影響で例年通りの自主事業の実施が難しい状況であるが、各行事の実施にあたっては、地域と連携のうえ、施設利用者の回復・増加に繋がるような事業の企画・実施に努めること。</p>
サービスの 質	<p>利用者アンケートの結果から利用満足度のほか、職員の対応や施設設備についても利用者から良い評価が得られている。今後も利用者がより快適に利用できる施設となるよう引き続きサービスの質の向上を図るよう努めること。</p>
収支状況 及び 経費節減	<p>収支状況については、一部の費目において流用があったが、計画的かつ適正に執行されている。</p> <p>引き続き、経費節減に努めること。</p>
その他 (緊急時 の対応 等)	<p>新型コロナウイルス対策で、施設職員による貸館利用後の消毒対応など、感染防止対策を適切に実施している。安全・安心に利用できるように配慮されており、今後も同様の状況が続く中、継続するよう努めること。</p> <p>危機管理研修や安全管理担当者研修など、緊急時対応に関する施設職員の研修が計画的に実施されている。</p> <p>また、消防団や運営協議会、地域住民と連携した防災訓練や、防犯活動の実施など、地域と連携した安全管理体制が構築されており評価できる。</p>